



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の漢字の読み方を答えなさい。

- (1) 四万円
- (2) 貳万円
- (3) 拾万円

豆知識 雑学コラム

数を表す漢字

今回は、数を表す漢字について見ていきましょう。

数字を漢字で書くと、3までは、「一」、「二」、「三」と横棒の本数が増えていきます。しかし、4は「四」と横棒の本数で数を表す規則から外れてしまいます。実は、古代中国では、4のこと

を「三」と横棒の本数で表す書き方もあったのですが、今では使われなくなりました。確かに、大きな数字を横棒の数だけで数字を表そうとしても限界があるので、「三」まででやめるのは賢明だと思います。

では、なぜ4を「四」と書くのを見かけることがあります。

これはもともと、商売をする際に例えば、契約書に「一」と書くのと、後で横棒を書き足して「二」と変えられる危険性があったため、書き足しできないように難しい字で書いたことに由来します。

【解答】

- ㄐㄐㄐㄐㄐㄐ (1)
- ㄐㄐㄐㄐㄐㄐ (2)
- ㄐㄐㄐㄐㄐㄐ (3)

でしようか。この「四」はもともと「口」を大きく開けて息をする「こと」から生まれた文字でした。確かに「四」は口の中をつまぐ描写していますよね。この「四」は「シ」と読み、発音が4と同じ漢字でした。そして、いつしか、4を表すときに、発音が同じである「四」で書くようになっていきました。つまり、「四」は当て字だったということなのです。

さて、一万円札を見ると「壹万円」と書いてあるように、「一」を「壹」と書くことがありますよね。これ以外でも特にお金を扱う際には「一」、「二」、「三」、「十」ではなく「壹」、「貳」、「参」、「拾」と書いてあるのを見かけることがあります。

この「壹」、「貳」、「参」、「拾」のような書き方を「大字」と呼びます。書き換えしてはいけない重要な書類を書くときには「大字」が使えるようにしたいものですね。